

数学

関西学院大学 全学部日程 [文系] (2/1実施)

<全体分析>

試験時間

60分

解答問題数

3題

解答形式

[1] [2] 空所補充 [3] 記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

数学 I A I B の全ての分野から出題されている。

その他トピックス

[3] の積分は9年連続のテーマ

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1] (1) (2)	図形と計量 確率	数学 I 数学 A	四面体の体積 条件付き確率	やや易 やや易
[2] (1) (2)	複素数と方程式 整数の性質 数列	数学 II 数学 A 数学 B	3次方程式、解と係数の関係 不定方程式の整数解 等差数列、数列の和	標準 標準
[3]	微分法・積分法	数学 II	接線の方程式、2つのグラフで囲まれた部分の面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

幅広い分野に渡って出題されているので、全分野を偏りなく学習する対策が必要である。教科書に載っている数学の定義や用語、定理・公式をしっかりと把握し、使いこなせるようにしたい。そして章末問題を問題なく解答できるレベルを目指したい。出題される問題の中には、他分野との融合もあり複雑に見えることがあるが、定義と意味を考えれば一つ一つは基本の作業に帰着されるので、普段からパターン学習に傾倒せず、しっかり考え、思考を整理する訓練を心がけてほしい。